

第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会第6回大会計画策定（実施計画）幹事会

平成24年11月8日

10:00～12:00

県庁第32会議室

梅田参事

おはようございます。

幹事会委員・事務局全員

おはようございます。

梅田参事

定刻となりましたので、ただいまより「第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会第6回になります、大会計画策定幹事会」を開催いたします。本日、司会進行を務めます。参事の梅田でございます。宜しくお願い致します。

では、開会に当たりまして、当実行委員会の幹事長でございます。鳥取県農林水産部長西山信一がご挨拶申し上げます。

西山幹事長

皆さん、おはようございます。

幹事会委員・事務局全員

おはようございます。

西山幹事長

幹事の皆様方、大変お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。全国植樹祭の日程が10月24日に公表になりまして、来年の5月26日（日）に決定をされました。例年よりも遅い決定で、事務局の方も非常に準備の方がございまして心配をしておったんですけれども、日程が決まりましていよいよ加速的に準備を進めていくという段階になりました。本日の幹事会では、前回いただきました幹事さんからのご意見の計画への反映の状況なり、それから明日の16時から米子の県立武道館で実行委員会総会がございまして、それにかけます案の審議をいただくという事でございます。本日色々と内容をご検討いただきまして忌憚の無い意見をいただき、いい大会になりますように一生懸命頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

梅田参事

本日のご出席者は、お手元に配布しております名簿の通りでございます。これをもって紹介とさせていただきます。なお、本日鳥取県市長会からは、代理の方を含めて出席のご返事がございませんのでお待ちしたいと思います。また、米子市立車尾小学校の達磨校長先生それからトトリネットの濱田美絵さんについては、所用により欠席でございます。

また、鳥取県森林組合連合会会長の森下洋一会長については、近藤敏夫専務に代理出席

をいただいております。最初に、皆様のご同意をお願いしておきたいと思いますが、この幹事会は原則公開でございます。会議でのやりとりは、ホームページで公開致しますので、その旨ご了承お願い致します。それでは、会議に入りたいと思います。進行は幹事長でございます、西山部長にお願いしたいと思います。宜しくお願い致します。

西山幹事長

それでは会議を開始致します。今回の開催趣旨につきまして、事務局より説明をして下さい。

大北課長

事務局の大北と申します。宜しく申し上げます。まず、皆様のお手元の資料 1 でございますが、1 枚めくっていただいて全国植樹祭の計画体系という資料があるかと思っております。全国植樹祭を開催するには、基本構想、基本計画、実施計画を作成しまして、主催者であります国土緑化推進機構や宮内庁へ段階的に説明する必要があります。平成 22 年度は基本構想を作成致しました。昨年度は、今年 1 月 24 日に開催しました第 5 回実行委員会総会において基本計画の最終案を取りまとめ、2 月 8 日に開催されました国土緑化推進機構の特別委員会で説明、承認を得たところでございます。今年度は、基本計画をもとに、より詳細な計画となる実施計画を作成する年になります。作成は、実行委員会総会に諮りながら進めていくこととなりますので、事前に幹事会で議論をいただくということになります。去る、8 月 29 日に今年度第 1 回目の幹事会を開催し、ご意見を伺っておりますが、本日はいただいた意見に対する対応方針などを中心に説明させていただきたいと思っております。明日は、第 7 回実行委員会総会が予定されております。ここで、実施計画中間案として説明させていただきますので、本日お集まりいただいた皆様のご意見を伺いたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

西山幹事長

それではまず、実施計画中間案について、審議をしていきますけれども、実施計画中間案（抜粋）それから前回いただきました意見に対する対応状況について、一括して事務局から説明をお願いします。

近藤課長補佐

失礼します。全国植樹祭課の近藤です。引き続きまして、資料 1 の方を見ていただきたいと思います。先程、説明しました通り基本構想、基本計画、実施計画と段階的に作りあげていくという事ございまして、昨年作りました基本計画につきましては、基本構想を基にして作りあげるという事がありまして、どちらかという、内容を一から作りあげていくようなイメージでございましたけれども、今回は実施計画を作りあげるという事で、これは基本計画を基にした作り方をしておりますと内容を拡充していくというようなイメージで理解をいただければという風に思います。お手元の方に現段階の中間案 90 数ページございますけれども、これをお配りしておりますが前回詳細に説明をさせていただきましたので、今回はそこから主に変わった点を資料 1 の方に抜粋をさせ

ていただいております。これに基づきまして、説明をしていきたいと思っております。

資料 1 の 2 ページから説明を致します。まず、第 1 章の開催概要です。基本方針等が謳ってありますけれども、この部分は大きく変わることはございません。先程部長の挨拶にもありましたけれども、開催日が 5 月 26 日（日）という事が決まりましたので、この日付が計画書に載ってくるということになります。

それから、第 2 章の方では式典行事計画という事で、式典の内容を記載しております。

基本計画の時には、10 時 15 分開始という予定にしておりましたけれども、プロローグの後半部分、ちょうど赤字で表示してありますけれども、「東日本大震災復興支援」のセレモニーを行いたいという事で、プログラムを 1 点追加しております。これに伴いまして、開催開始時間を 5 分前倒ししまして、10 時 10 分からの開始を今計画しております。それから、アトラクションにつきましては従来より、検討しておりました「森・川・海」のパフォーマンス、これは「みどりの少年団」約 200 名による集団演技になりますけれども、こういったアトラクションを予定しております。このアトラクションに続きまして、鳥取の鹿野町で活動しております「鳥の劇場」の方をお願いしまして、創作劇を行います。創作劇の名称は「大山森話（だいせんしんわ）」大山の森の話という書き方になりますが、「大山森話」というタイトルで上演をしていただくことにしております。夏に主人公募集一般公募を致しまして、主人公には、境港市の外江小学校 6 年生ですけれども、「首藤紗弥さん」という女の子が主人公に選ばれました。それから、サブの主人公の代役ということですが、基本的に一番最後のエピローグの部分でメッセージ発信をしていただくかなという事で出演いただきます米子市立明道小学校 5 年生の男の子で「河島隆樹君」、この 2 名をオーディションで選びました。すでに、練習も始まっておりまして、第 2 回目の練習を 11 月 12 日、これ月曜日ですけれども、ここで開催する予定にしているところでございます。

それから、めくっていただきまして 3 ページ、第 2 部の記念式典でございます。天皇皇后両陛下のご臨席をお願いしている部分でございます。ここは通常先催県同様の定型的なプログラムになっておりますけれども、真ん中に赤字で表示しております通り「鳥取県の知事表彰」がございます。知事表彰の名称が「鳥取県美しいもりづくり功労者知事表彰」という事で現在その推薦をいただくように取りまとめをしている所でございます。

それから、この記念式典の中で大会テーマの表現という事がございます。これは「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」という物をどういう風に表現していくかという事で右の絵にありますように、ダンスとそれからメッセージ発信という事で表現をしていくという事にしておりまして、特に今回全国植樹祭で設定しております。4 つの森「交流の森」「学習の森」「体験の森」「生活の森」この 4 つをパフォーマンスとメッセージで、それぞれ表現をしていくという事で現在検討が進んでおります。それから、表の方の一番右に音楽というのが、記載してあるかと思っております。それぞれ、ファンファーレの部分であるとか吹奏楽、合唱それから弦楽こういった音楽をどういうやり方で実施していくかというような事もここで記載をさせていただいております。それから、最後のエピローグになります。

グランドフィナーレでございますけれども、エピローグの組み立てにつきましては、和太鼓、それから集団で出演者全員集合というような形の集合の際に、このゆるキャラと一緒に伴って集合したりとか、それから鳥形風船を空に放つという様な事を今検討しています。それで、来場者一体型の演出というのが先催県でも必ずやってきておりますけれども、今現在鳥取県で検討しておりますのが、唱歌「ふるさと」の合唱という事で出演者と来場者がこの「ふるさと」を合唱するという事を予定しております。それから、鳥形風船の放天ということですが、これは現在我々が進めております、「美鳥（みどり）の大使」美しい鳥の大使が全国植樹祭当日、その会場から全国に羽ばたいていくというようなイメージを演出したいということで検討をしているところでございます。それから下の表にありますように、それぞれ出演いただきます学校、それから団体等も順次決定してきております。介添え等行っていただきます「みどりの少年団」につきましては、地元の開催三町（南部町、伯耆町、江府町）この3町で現在協議を行っているところでございます。それから、ボーイスカウト連盟さん、ガールスカウト連盟さん、こういった所にも協力をお願いしております。音楽隊につきましては、吹奏楽は5つの高等学校に地元三町の5つの中学校を加えて約150名で編成する予定にしております。合唱隊につきましては、鳥取県西部の合唱団体約10団体、約200名で構成する予定にしております。弦楽につきましては、米子管弦楽団さん、それから創作劇、これは録音になりますけれども、演奏につきましては鳥取市交響楽団さんをお願いをしております、音楽隊につきましては、すでに個別練習、それから合同練習等が始まっている所でございます。

5ページをお願いします。第3章の植樹行事計画です。今回、実施計画におきまして両陛下がお手植えをされる順番、位置、これを表示しております。それから、お手播きにつきましても、お手播きをする樹種の順番それから配置これにつきまして図で表示をしております。それから、右の方の図ですが、これは代表者記念植樹でございまして、記念植樹の場所、人数につきまして表示をしております、これは片側しか表示が出来ておりませんが片側で25名、反対側にも同じく記念植樹地を設けておりますので、合計で50名の代表記念植樹を計画している所でございます。それから、一番下の方に書いてございますけれども、とっとり花回廊いやしの森におきまして植樹祭の開催後に、自由植樹期間を設けるように検討しております、当日来られなかった方につきましても、自由に花回廊に来ていただきまして植樹をしていただくという事を今、検討しているところでございます。

それから、第4章の会場整備計画でございます。会場パース図は、これまでもお示ししてきたところでございますけれども、去年のちょうど11月の総会で「大山が陛下の視線から見えないのではないか」という意見をいただきました。特別招待者テント、ここにブロック割がございまして、大山側のブロックを現在1ブロック取る予定で詳細図の方を今作りあげているところでございます。パースはそのまま、ずっといつている所ですが、1ブロック取る予定にしております。それから、右の飾花のイメージ図でござい

す。これにつきまして、今回実施計画の中で正式に掲載をしていきたいと考えておりますし、それから左側の下、お野立所のスケッチでございますけれども、スケッチと共にお野立所の特徴等につきまして具体的な記載を実施計画の方でしております。めくっていただきまして7ページです。飾花計画に絡みまして、花の種類を選定しました。

11種類を選定しまして、それぞれ設置場所も具体的に記載をしております。ユリとか二十世紀梨、サルビア等々ございまして、この資料におきましては6種類という事でございますけれども、その他（アゲラタム、メランポデューム、ロベリア、キンギョソウ、ガザニア）というような花を選定してございまして、それぞれ記載をさせていただいております。

調達につきましては、JA鳥取西部それから県内農業高校等にご協力をいただいているところでございます。それからもう1つ、レセプション会場にも梨であるとかチューリップであるとか、そういった飾花を行うという計画にしているところでございます。

8ページの運営計画でございます。まず、会場内動線計画でございます。植樹会場と式典会場を徒歩で行きますと30分程かかろうかと思っておりますけれども、基本的には徒歩を想定しているところでございますが、高齢者等に配慮した輸送を検討するという事を実施計画の中に記載を致しました。それから、会場おもてなし計画でございます。右の方に配置図がございますけれども、配置につきましては現在検討中でございますので、配置、レイアウトが決定次第に差し替えは致しますが、おもてなし広場での滞在時間、これにつきまして十分に確保出来ますように、輸送計画を工夫したいという事を記載しております。

それから、会場外でのおもてなしという事で、米子駅前のだんだん広場で、おもてなしブースを設置したいという事で県外招待者であるとか、当日入場出来ない一般県民の方も楽しめる場を設置していきたいという事で、これにつきましても記載をさせていただきました。それから9ページをお願いします。9ページは実施本部体制でございます。

これは、県内部の実施に係わる組織化という事ですけれども、運営につきまして6部の体制で考えたいと思っております。それに各班がぶら下がるような形になりますけれども、班が22班という事で6部22班体制を今検討しているところでございます。最終決定しましたら、これにつきましても実施計画に載せていきたいと考えているところでございます。

それから、10ページでございます。10ページは、研修・リハーサル計画でございまして、開催日が決定しましたので、⑥前日リハーサル、これは5月25日という事で自動的に決定という事でございます。先催県同様に基本的なリハーサルとなります式典リハーサル、それから総合リハーサル、こういった事は実施をしていく予定にしておりますけれども、「みどりの少年団」をお願いしている三町とそれから音楽隊も非常に多くの人数規模になっておりますので、出演団体等の意見を伺いながら合同練習等を追加で計画していきたいという風に考えているところでございます。

それから、11ページをお願いします。第6章宿泊・輸送計画、8月29日の当幹事会におきまして、十分に整っておりませんでしたので説明仕切れなかった部分でございますけれども、現在お配りの実施計画中間案では75ページから始まっております。主に変更になっ

た部分をここに抜き出しておりますので、ご説明をさせていただきます。まずは、宿泊エリアの事でございますけども、中部の方で後継者大会、これは「第 42 回全国林業後継者大会」というのが開催されまして、全国植樹祭前日に開催をされますけども、全国から林業に携わる方が多く集まります。当初は湯梨浜等の温泉街にも宿泊エリアが想定されておりましたけれども、順次内容を詰めていった結果、三朝温泉のみに宿泊をしていただくという事になりました。

それ以外の参加者、全国植樹祭に参加されます皆様は「皆生温泉、米子、大山地区」に宿泊をいただくという事で当初通り変更はございません。それから、県外の方に対しまして視察コースを設定するという事で検討しておりました。基本的には、式典終了後の視察という事で予定をしておりましたけれども、実施計画を詰めていく段階で式典前日につきましても、視察コースを設定したいという事で検討しております。それから、宿泊施設についての A E D の設置につきましても、基本計画では努力義務的に書いておりましたけれども、これを必ず設置するというような事になりました。それともう一つ、宿泊施設に対しての研修訓練、これを促したいという事の記載を新たに追加しております。

それから、駐車場計画でございます。式典本番当日に会場に招待者を輸送した後、バスを一時待機させる場所の確保でございます。当初は、米子港とそれから大山隠岐国立公園の上楨原駐車場、この 2 カ所を想定しておりましたけれども、様々状況精査していった結果、候補としましては消防学校、これは鳥取県の施設でございますけども、こことそれから南部町でございます、鶴田の駐車場、ここを今検討しております。鶴田の駐車場につきましても、大山町で行っておりました県の公共事業、堰堤の土砂の撤去でございますけども、撤去された土砂を活用しまして駐車場を造成したという様な事で、これは町有地という事がありますので、町の方で管理をしていただくという事になりますが、とっとり花回廊に一番近い所に約 120 台規模のバス駐車場が確保出来るという事になりまして、突然の雨であるとかというような事にも対応出来るような体制が整ってきたかなという風に考えております。

それから、第 7 章荒天時の式典計画でございます。現在は会場になります、米子コンベンションセンターの平面図を添付しているのみという事になりますけれども、最終的には金属探知機の位置であるとか、一般招待者の動線であるとか、そういった計画を盛り込みまして、実施計画に掲載をしていきたいと考えております。

それから、第 8 章から第 9 章県民運動の計画それから記念事業等という事で、この 4 月以降様々イベントを開催してきております。5 月にプレ全国植樹祭を開催したり、10 月以降カウントダウンイベント、東部、中部、西部ごとで開催をしました。それから市町村にお世話になりながら、リレー植樹も順次やってきておりますし、苗木のスクールステイは、去年の冬から継続して行っているところでございます。こういった、開催イベントを実績として追加で記載をさせていただきました。

それから、最後の第 10 章の広報・協賛計画です。広報につきましては、PR キャラバン

隊を編成しまして、毎日の様に各地出向いております。それからポスターを作成したり、あるいはPR用にグッズを作成したりというような事で様々な方法を行ってきているところでございます。こういった取り組みを、これも実績としまして追加記載をして内容を拡充させていただいているところでございます。実施計画中間案につきましては、主な変更内容等々につきましては以上でございます。

あと、お手元の方に2枚紙で別紙1と別紙2というのを配らせていただいております。白黒の紙でございます。こちらを見ていただければと思いますが、別紙1の方からまず説明をさせていただきます。第5回大会計画策定幹事会でいただきました意見に対する対応方針という事で8月29日に説明を致しまして、委員の皆様からいただいた意見を列挙しております。まず1つ目でございます。県内招待者3500人の内、公募について、いつどのような方法で、いつ頃広報をするのか具体的な説明が欲しいという事で、その当時は詳細決定しておりませんでしたので、保留になっておりましたが、今回改めて説明をさせていただきます。招待者の内訳につきましては、もう一枚の別紙2の方を見ていただければと思います。人数内訳につきましては、中央招待者30名それから特別招待者、県外が220名、県内が200名という事で合計450名でございます。それぞれ対象者となりますところが記載されております。それから、一般招待者につきましては合計で3300名という事になりますけれども、県外の一般招待者が1250名それから県内につきまして3300名という事でございます。8月の幹事会でご質問いただきましたのが、この公募の部分でございまして公募枠というのが、全体で1300名でございます。1300名の内、純粋な一般公募というのは800名、それから美鳥（みどり）の大使の枠が500名という事で、合計1300名というような内訳になっております。別紙1の方に返っていただきまして、現在すでに公募が始まっております、チラシの方をお手元にお配りしているところでございますけれども、PRの手法としましては、県の機関それから市町村の機関、公共施設こういった所にチラシを配布しておりますし、県内の小・中・高等学校にもチラシを配布しまして、PRを行っているところでございます。それから、県政だよりとか新聞広告、テレビコマーシャル、こういった物にも掲載あるいは放送していく予定にしているところでございます。あと全国植樹祭とは別に県の広報課の取り組みとしまして、メディアミックス広告というのがございます。全国植樹祭とは別デザインで11月下旬から12月上旬にかけて、新聞、テレビCMそれからラジオ等の放送でPRをしていく予定にしておるところでございます。

2つ目の意見でございますけれども、美鳥（みどり）の大使からの参加申込みと一般公募との関係についてでございます。先程説明しましたように、純粋な一般公募は800名、美鳥（みどり）の大使は500名という事で、一般公募の枠とは別で設定をしております。美鳥（みどり）の大使につきましては、昨年より順次受付を行っている所でございます、美鳥（みどり）の大使の抽選については、一般公募の抽選よりも先に行うという予定にしております、先に500名が決定するという予定にしております。美鳥（みどり）の大使に応募いただいた方で、抽選に漏れた方につきましては、一般公募枠に含めて再度抽選を

行うという事にしておりまして、美鳥（みどり）の大使で申込みをいただいた方につきましては、自動的に 2 回抽選に参加出来るというような優先的な扱いをしているところでございます。それから、車椅子の席の方についての配慮、考え方を教えて欲しいという意見をいただきました。結論から言いますと、現在検討中でありまして、結果が出次第実施計画にも盛り込んでいきたいという風には思いますが、車椅子の方につきましては、警備の関係であるとかそれから動線の関係、特に会場が芝生という事もありますので、寄り付きの問題もあります。それから、トイレの問題こういった様々な要素を加味しながら配置を決定していきたいという風に思っているところでございます。

それから、おもてなし広場を準備しても、時間的な余裕が無い。来場者に見てもらったり、買い物をしていただけるよう宿泊輸送計画を点検していただきたいという意見をいただいております。これにつきましては、先程抜粋の中でも説明を致しましたが、おもてなし広場で滞在時間が確保出来ますように輸送計画を工夫するという基本方針につきまして、実施計画書に明記をさせていただきました。同じく植樹会場から式典会場までの徒歩について高齢者の方や、足の不自由な方の移動について何らかの方策を検討すべきではないかというご意見も伺いました。何らかの手段を確保する事としまして、実施計画書の方に基本方針を明記させていただきました。一番下と 2 つ目おもてなし広場の時間確保、それから植樹会場から式典会場までの移動手段の確保につきましては、マニュアルであるとか、これからバスのダイヤ表等が決定していく中で、詳細の輸送計画の中であるとか、そういった所で点検をしていきたいという風に考えているところでございます。以上です。

西山幹事長

ただいまの説明を受けまして、ご意見、ご質問をお受けしたいと思っております。どなたでも結構ですので、宜しくお願い致します。

石幹事

全体的に流れであるとかはよく分かりましたが、三朝で全国林業後継者大会が、これが前日にあるんですが、前日にあるという事でお聞きしたいのですが、鳥取県全体で取り組むという事で考えた時に、米子駅前のだんだん広場でのおもてなしブースですか？これは雨天の時でも利用出来るなあという気はしておりますけれども。空港を使って来県される方も結構あるのではないかなあという気はしますけれども、その辺の把握をしていらっしゃるのかなあということと、米子駅前のおもてなし広場でしたか？ 境港市の鬼太郎空港も何らかの形があってもいいのではないかなあという気がしますが、そこまで手を広げるのかどうなのかという気はいたしておりますけれども、せっかくの機会ですので、到着された人にやっぱり歓迎を含めた取り組みが必要でないのかなあという気はしておりますし、帰りのお買い物はどうするのかという気はしますが、少なくとも来られた時の歓迎が分かるようなことがあっても良いのではと思います。

西山幹事長

石幹事の方から、だんだん広場のおもてなしという事は良いけれども、米子空港でどれ

くらいの来県者がある見通しなのか？という意見が。それから、空港やJRでもそうかもしれないけれども、歓迎をどういう風に表したりするような計画が検討されているのか？ その辺について、事務局の方からお願いします。

岸田参事監

参事監の岸田でございます。空港それから駅の到着時の歓迎、それから出立時のお見送りを今、西部の総合事務所の中にプロジェクトを作っております、そこで今もんでいるところであります。お帰りの際のだんだん広場については、県外者の方だけの催しではなくて米子市内の人、それから周辺の人と一緒に楽しめるようなイベント形式でやろうかというのを今考えています。それから、空港の方は中々そういうイベントは難しいので到着された時に色んなガイド等を市町村と県と一緒に出来るようなそういうスペースを作っていきたいという風に考えています。

西山幹事長

まだ、検討中という事のようにですけども、西部総合事務所のPTの方で検討されていると、空港の方についても、どの程度の歓迎、見送りでしょうか、帰られる時の対応という事について対応が増えていくという基本的な考えだと理解していいでしょうか？

岸田参事監

帰りはちょっとね、今のところ考えては、ちょっと難しいだろうという事なんです。

西山幹事長

空港を利用される方の人数規模とかいうのは想定されていますか？

梅田参事

西日本である大会でありますので、東日本の方は比べると少なめではあると思いますが、空港を窓口にされるのは間違いありませんので、1500の中の3分の1強かな？と思っております。便が限られますので、到着にあわせて歓迎とかそれから案内についてはブースを設けて、加えて書おりますけれど、視察コースは前日のコースもあらかじめご案内したいと思いますので、そういった方々のお問合せに応じられるブースを空港には設置したいと思います。

西山幹事長

到着は分散するように、前日のツアーなんかの企画も考えられる。

大北課長

また、空港周辺にのぼり旗こういった物を飾ると共に飾花、花のプランターを散りばめながら歓迎の意を表したいという風に思っているところでございます。

西山幹事長

その他、幹事の皆様からどなたでも結構ですので、いかがでしょうか？

近藤専務（代理）

まず、2つばかりお話をしたいと思います。1つは美鳥（みどり）の大使の抽選を先にした上で、抽選に漏れた方は一般の方で抽選を致しますという事なんです、私も不勉強で

申し訳ないんですけど今、美鳥（みどり）の大使何名位になっていらっしやって、どうなっているのかという事をもうちょっとここで説明をいただきたいのが1つ、それから先程から話題に出ておりますが、実は今年の山口きらら博の会場を使った植樹祭で感じた事があります。当然、交通アクセスが、あそこもあまり良いところではなかったもんですから、西日本中心にバスがもの凄い台数で会場に入りました。その時に感じたんですが、中国自動車道とか山陽自動車道のインターチェンジから入っていくわけですが、どういうわけか、のぼり旗が全く無くて山口の市内に入っても突如として、後継者育成大会というのにも私達は向かったんですが、会場に入ってすぐのところでのぼり旗がやっと見つかったという状況でありました。

翌日の植樹祭の本会場は、そんなに湯田温泉から、きらら博の会場の跡地利用だったと記憶しておりますが、時間的にもそんなにないだろうと思っていたんですが、当日車で行くと植樹祭の旗も何も無いまま、きらら博に入った瞬間にももの凄い広場と観光バスの多さにびっくりしたのがあって、やっぱり先程来おっしやっているように鳥取県をあげてやる場合には、そちらよりももっと車のウエイトが高まると想定していますので、賑やかし程度でなんか分かるようにしておけば、手を挙げてやっている行事だなと分かります。それから、式典がスムーズに流れるようになった後の話ですが、私達車でまた鳥取まで帰る事もあったのですが、会場の隣接している色々な林業関係者のテントのブース、あそこに40分しか僕らは見せてもらっていなかったんですけども、ちょっと山口県でもうちょっと高性能林業機械を見たかったのですが、山口県の林業関係者がどういった物を作っているのか見たかったんですけども、それから、山口県の林業の関係者がどんな事を皆さんにアピールしたかったのかなと、足早に「タッタッタ」と一回り回って、すぐ観光バスに乗ってしまった。あまりにも、スケジュールが綺麗に区切られているがゆえに生の物が伝わって来なかったなあ、残念だったなあというのが今年の植樹祭の反省している部分でございますので、もうちょっと一体感を持つような格好で出来なかったのかな？駐車場にはもの凄いバスの台数が一カ所に固められておって、とにかくスケジュール通りこなす事を最優先にして、大会の会場に集まった皆さんの方は、そればかり「出ちゃ駄目ですよ」というような枠の中で、限られた時間を使って帰ってきたような記憶があるので。我が鳥取県では、あまり垣根をがんがんやっても関係者が出てきて「そこは駄目ですよ」なんて言われると、また「何か堅苦しい、大会だったなあ。今年のは」と言われると、ちょっと寂しいなという感じがするので、会場を含めて一体となったような感じのものを相反する事を今、申し上げておるんですけども。花回廊を全国にアピールする事も大事だと思っておりますので、その辺の所を配慮していただければなあと、この2つでございます。

西山幹事長

大変、実体験に基づく意見をいただきまして、鳥取県大会がそうならないように気をつけたいと思いますけれども、2点と言いましたけれども、1点は美鳥（みどり）の大使の人

数なり参加を希望されるような状況。2点目は、歓迎の雰囲気作りになるかもしれませんが、のぼり旗なんかの山口が非常に局所的だった。私も湯田温泉の駅の所を通過しましたが、飾り付けは少なく、それは後継者大会の場所だという事で差が付けてあったのかも知れませんが、おっしゃったような印象は、多少受けました。のぼり旗なんかの設置の計画、どういう分担になっているのか市町村と実行委員会その辺りで。3点目になると思うんですけども、時間の取り方といましようか？先程も、反映するという事をいいましたけれども、スケジュールの点検、3点説明をお願い致します。

濱本課長補佐

濱本です。美鳥（みどり）の大使はここに配ってある紙に、カウントダウンイベントの開催というのがありまして実は、11月5日にもう一つ、江府町でカウントダウンがあったんですけれども、そこで美鳥（みどり）の大使4万人達成しまして美鳥（みどり）の大使は約4万人ということになっています。美鳥（みどり）の大使は植樹活動ですとか、それから環境保全活動、それと森・川・海での活動、そういう方になっていただいております、この間の11月5日で4万人という事になっております。それで、美鳥（みどり）の大使からの申込みの人数ですが、今770人います。美鳥（みどり）の大使の申込みは、11月20日までという事にさせていただきますので、もうちょっと増えるかと思いますが、現在770人という事です。770人の方々に抽選させていただきます、もしも漏れた方は、一般の方も含めて再度抽選させていただきますという事にさせていただきます。

西山幹事長

参加希望が4万人じゃなくて良かったですね（笑）。

濱本課長補佐

美鳥（みどり）の大使は今後も、ここで終わりという活動ではないので続けてさせていただきますと思っています。

西山幹事長

あと、10日間くらいで締切りになるんですが、美鳥（みどり）の大使は。

濱本課長補佐

別紙1の中で広報した中に、この中に美鳥（みどり）の大使の締切りも広報する事になっている部分もありますので、20日まで申し込んでいただきたいと思います。それからもう1つ、のぼりの体制こういう風に考えております。課長の方から先程ありましたけれども、県内に皆さんが入って来ていただく玄関口となるような所、駅ですと鳥取駅、倉吉駅、それから米子駅それからお話し致しました、空港2つにのぼり旗を設置したいと思っております。それから宿泊場所、特に皆生、それからこの間三朝町の方とご相談したんですけれども、後継者大会の場所と、後継者大会の旗だけではなくて植樹祭の旗もあったり後継者大会の旗もあったり、それから駅は駅だけでは無くてある程度の道路、会場近くの道路そういう所に設置したいと思っております。例えば米子駅ですと米子の駅前通りですとか、そういう所に設置していきたいと思っております。ちょっと寂しいような感じが山口もありま

したので、道路管理者と何らかの協議もありますが、のぼりですとか飾花、花を設置していきたくて思っております。

西山幹事長

会場に向かう所なんかも沿道というのはどういう風に考えていますか。

濱本課長補佐

花回廊の、鬼守橋付近からですとか、それから花回廊の会場入り口からだけではなく、導入部分というか、あそこら辺にも付けていきたくて思っております。

西山幹事長

市町村との分担という考え方はないんですか？

濱本課長補佐

植樹祭の会場は県がさせていただきますして、市町村に分担していただくところもあります。例えば、もちろん役場なんかは市町村に立てていただきますして、それからその他沿道にも開催町にお願いしたりしているところでもあります。今、具体的にどこかというのがあれなんですけれども、県の方が特に立てるところは県外の皆さんが入ってくる玄関口の駅や、それから花回廊の周辺とか。

西山幹事長

途中にある沿道とかというのが該当の市町村の方と計画をしているという風な。

濱本課長補佐

今、開催町では沿道を考えておられますけど、その他の所は沿道まではされないかもしれません。ただ、開催町の皆さんの方にのぼりなんかも共同購入の手はずを計画しております、開催町に限らず皆さんののぼりですとか横断幕とかそういうのを購入していただく事になっております。

西山幹事長

なるべく市町村の方にもものぼり旗の共同購入の働きかけをしたり、よいしょ、よいしょは、実行委員会の方がやっていくんですけれども、中間地点もある程度、市町村に協力をいただけるような今、働きかけをしている風に理解をしていただきたいと思います。あとそれから、スケジュールとかバスの時間になりましたと、おもてなし広場とか、そういう風な展示とか見る時間が無い、山口の場合。その辺りを先程説明がありましたけど、盛り込んでいると思ったらいいんですかね？

田中課長補佐

1つ私からご報告させていただきます。植樹祭課田中でございます。宜しくお願ひ致します。山口大会でのおもてなし広場の滞在時間がちょっと短かったというご感想でございます。私共の鳥取大会シュミレーションしてみましたが、どうしても難しい要素がいくつかあるのも事実でございます。県外の招待者の方、お帰りになる際に例えば、米子空港であるとか米子駅からJRあるいは飛行機でお帰りになるとその際の現実的な時間帯を考えてみますと、午後3時代には米子空港あるいは米子駅にお送りしておかないと、各都道府県

の皆様方が帰りにくいという所が公共交通機関のダイヤ等確認してみましたら、そういうような状況が分かりました。午後3時代、例えば3時30分とかに米子空港あるいは米子駅に着こうと致しますと、花回廊をバスが出るのが2時30分位にどうしてもなってしまうわけでございます。近藤専務様からの発言をいただいて、また色々考えないといけないと私も思っている所でございますが、やはり午後のあるいは鳥取の大会でのおもてなし広場に相当する部分にご滞在いただく時間はやはり1時間以上というのは中々難しいというのが実態でございます。あと、輸送スケジュールが堅苦しかったというご感想がございましたが、こちらも3000人を超えるような県内、県外からの招待者の方、計5000人の方々を安全にそれぞれの場所へお送りするには、どうしても堅苦しいと思わざるおえない面がある事は仕方がないかなとは思いますが、ただ、その中でもなるべく皆様方に喜んでいただけるような形、滞在時間であるとか皆様方ご参加いただいた方々に楽しんでいただける、どうい事が出来るだろうかという事はこれからも考えていきたいと思っております。

大北課長

今回、式典会場とおもてなし広場が隣接しておりますので、山口の様にいわゆるイベント会場が離れているというわけではないので、そういった意味では一体感が出るのかなという風には思っております。

西山幹事長

山口の場合は、おもてなし広場に相当する所が式典のセキュリティーの外側に作ってありまして、一般の方が自由に入れる場所におもてなし広場が作ってありました。

ですから、ちょっと離れていて大会に参加をされた、特に県外の方とかバスの時間とかがかなり恐らく逆に優先して県外の方のバスの時間とか早く設定されておった位だと、私は思いますけれども、それで自由時間が少なかったりという形になった。近藤専務の方からも話がありました通り、花回廊せつかく朝の植樹では中を通っていただけるという行程になっていますけれども、余裕があるんだったら帰りにもまた見ていただきたいような感じもあるんですけども、後は時間との闘いです。この辺りは最大限工夫をしていくところです。

岸田参事監

色んな各県からお越しになりますので、帰りの時間JR、飛行機の時間に合わせて最大限、おもてなし広場であるとか会場内を自由に見てもらおうような時間を取りながら計画をしていきたいと思っております。

近藤専務（代理）

山口は車の利用の確率が高いと思う。もうちょっとコンパクトにみんなが集まれるようにした方が良かったのになあというような印象です。

西山幹事長

規模的にも山口の大会は参集の人数が一万人規模だったと聞いていますので、近年にない大会規模で、県民参加の数を増やされたということだと思いますが、今回はその会場の

花回廊の場所の制約を 5000 人規模、先程説明がありました、それでも相当な人数、バスの台数は今どれくらいでしょうか？

近藤課長補佐

200 台です。

西山幹事長

鳥取県内だけではまかなえない、県外からのバスを調達するような状況ですけれども、輸送計画を丁寧に見ながら、時間的に余裕があるように設定してもらいたいと思います。

その他ありますでしょうか？

井関幹事

一般参加者の植樹の事ですけども、花回廊の東の方のバスをそこで降りてから少し遠いかな。先に植樹に行くんですか？ 一般招待者。

岸田参事監

後からですね。県内は。

井関幹事

式典会場からバスの赤い線の所が植樹地ですね。私達高齢者そういう人達が申し込んでいるんですけど毎年の県の植樹祭の時は平気だったけども、ずいぶん遠いかなと思って、春の県の植樹祭では、遠いからといってバスが準備してあって便利だと喜んでいたんですけど、バスは無いってことで、障害者の方とか高齢者の方、結構子供も歩くのかなと？

西山幹事長

井関幹事の方から質問がありましたが、今年の春の県の大会この同じ場所で植樹がありまして、バスが近くまで行ったって事をおっしゃったのだと思います。来年の植樹祭の植樹の流れをもう一度県外の方のパターン、それから県内の方のパターンというのを動線を含めて説明して下さい。

近藤課長補佐

お手元に配っております実施計画（案）という事で中間検討用の物をお配りしております。90 数ページのもので、クリップ止めしてある資料の 48 ページを見ていただきますでしょうか？ここに、お示ししておりますのは当日の参加者の方の行動表でございます、それぞれ招待区分ごとに行動が全部異なっていくということで、それぞれの区分で記載をさせていただいております。植樹会場は 2 カ所ありまして、「いやしの森」とそれから「鏡ヶ成のめぐみの森」でございますけれども、さらに県内の方と県外の方、一般招待者の方、特別招待者の方と様々な区分があります。井関委員さんのご質問でありました事でいきますと井関委員さんが、もしというか多分参加されるんですけど、参加されるとした場合は、県内招待者という事になりまして、県内招待者は午後に植樹をいただくという事になっております。朝、植樹をいただいてそれから、式典に参加いただくというような基本的には県外招待者を原則としております。どういった行動になるかといいますと、県内招待者の方は、各市町村に設定されています指定集合地に集まっておりますのでバスで受付をしてい

ただくという事になりまして、式典会場のそれこそ花回廊の駐車場までバスでお越しをいただく事になります。そこから、式典に参加いただきまして、昼食を取っていただいた後に、この植樹会場の方まで徒歩で移動いただくという事を今考えております。帰りにバスに乗られるのは、植樹会場「いやしの森」の入り口付近、この図面でいきますと、資料 1 の 8 ページの図面でいきますと、赤い丸が書いてあると思うんですけども、バス乗降所というのがあり、ここで乗ってもらうという事です。先程ありました通り、高齢者の方であるとか車椅子の方、足の不自由な方については、現在これという手法はまだ決まっていないのですけども、これも輸送計画の中で、どういう形で植樹会場までお運びするのかという事を検討しないといけないという事になっております。今、想定されているのは小型のバスであるとか、あるいはちょっと大きめの乗用車であるとかワンBOXタイプのそういった車で運ぶ事になるのかなという風には思いますけれども、宿泊輸送の中で詳細にそこら辺は洗い出していくという事にしております。

井関幹事

「当日に乗せて」とかというのでは無く、前もって申込みをしておくとか・・・

梅田参事

公募のガイド、パンフレットを今、お配りしているんですが、申込書の中に車椅子利用の方とか、それから介助が必要な方にはチェックを入れていただく事にしておりまして、前もって人数が分かりますし、どのバスに乗られるというのも把握出来ますので、それに合わせた園内バスというのでもこまめに動かせば対応が出来るのかなと思っております。出来れば、せっかく綺麗な花回廊でございますので、歩ける方はゆっくり楽しみながら植樹会場に来ていただくというのを基本にはしたい所ですが、そういう配慮もしたいと思っています。

井関幹事

時間的には、帰りのバスに間に合うような時間帯・・・

梅田参事

帰りのバスに間に合うようなそういうような時間帯を組みたいと思っています。

岸田参事監

ここは、時間をゆったり取って。

梅田参事

園内の中をゆっくり見ていただく。

西山幹事長

県内の方の植樹は、式典が済んだ後という事がありますので、先程ありましたように時間的にはゆったりと取れる、ゆっくりと歩いていただいても、ある意味その式典が控えているという事ではありませぬので。

井関幹事

(これまで) バラバラで歩いて植樹に行ったのですが、今年はバス単位で移動や植樹をしたのですが、そうでは無くてバラバラに・・・

梅田参事

移動については、バス単位でさせていただき予定でして、バスには 2 人ずつの添乗員を付けて植樹会場へのご案内とか会場へのご案内をきめ細かくさせていただこうと思っております。

西山幹事長

その他、中野幹事。

中野幹事

先程、その花回廊の中での園内での時間はたっぷりあるお話でしたけれども、参加者というのは、ここから会場まで「この人はバスまで何分位なんだろう」という時間的な感覚は全く分からないと思うんですね。例えば「ここからバスまで、30 分あるからドームも見てみようか」とかそういう発想になると思うので、園内での案内役の方がかなり必要なのかなあという風には思っております。園内の方は、「道案内するだけ」という様な感覚ではなくて、花回廊の見どころは勿論把握しなきゃいけないかとは思いますが、本当に花回廊は見どころが満載なわけで、県外の方は特にもう一度リピータとして来ていただく為にもあちらの方まで回っていただいても、見ていただいても「会場には間に合いますよ」とか、時間的な配分の助言、アドバイスも出来るようにされていた方が良いのかなという風には思っています。あと、もう 1 点これは質問なんですけれども、エピローグの中の鳥形風船を放つっていうような事の演出なんですけれども、それはどのような素材なのかを知りたいです。例え紙風船であっても空に放した物は 1 個 1 個回収も出来ません。それで個人的には、今の環境問題等も含めまして、私は空に放つような演出はもうちょっと他の演出はないのかなという風には思っております。特に花回廊の周辺というのは、どこまで風船が飛ぶのか分かりませんが、山が多いので多分山の木々に引っかかったらと想像しただけでもちょっと。後がですね、環境的にも見た目にも悪いんじゃないのかなと、その場の演出は本当に素晴らしいとは思いますが、その後の事も考えたらどうかというように思っています。以上です。

西山幹事長

ありがとうございます。説明をお願いします。

近藤課長補佐

まず、園内の案内の事なんですけれども、先程説明がありましたようにバス単位での移動というのが原則でして、花回廊の園内に入ったら自由行動ですよという事で、バスのそれぞれの方が交互に散らばっていくという事ではなくて、前と後ろに誘導役の添乗員的な

人がいてですね、集団移動という形を今想定している所です。それで、始めの説明にもお伝えしましたが、花回廊内での移動時間というのは普通に歩いても約30分かかるという所用時間ですので、バスの運行等ダイヤ計画とを合わせての相談になるのかなと思っています。それと後、鳥形風船ですけれども、素材としては生分解性の物でして今、様々な条件がございますけれども、早くて2週間から1ヶ月位で完全に無くなるという素材の物で今検討しております。ほぼ今、販売されているのは生分解性の物が主流という事でして、前のように化学製品で作った風船というのはあまり売られていない。こういうイベントでは使われていないというような事です。1つ心配事がありまして、式典会場、芝生会場の上空に高压電線が走っておりまして、これは中国電力さんと相談をして、しかも実験もしまして一応引っかからないというような事で実験結果が出ましたので、一応了解は今いただいております。ただし、取り付けますヒモの長さとか、それには若干の制限が加わるかなという事です。1つのこの鳥形風船の大きさが羽をパット広げまして、70cmというような大きさになります。これを予定では64回にちなみまして640個を一気に放とうかなという今の計画です。という事で、素材は生分解性、水に落ちればもっと早く2週間という事は多分無いと思います。

西山幹事長

先生どうぞ。

根本委員

今の部分は僕も気になっていた所で、生分解性で良いんですけど、多分会場の人に印象としては今の人は「どうなるんだろう」ときっと思うので、多分そういう事を会場の人なり、マスコミの広報なりで「そういう物ですよ」という事は言っておいた方が良いのかなと。それと後、私この（木製コースター）4600人にお配りするという事で、1年位前、半年位前にもらって家で使っているんですけども、湾曲しているんですよ。多分4000何人がこれをもらって帰って家で使って湾曲していると、「やっぱりスギはダメかな」と思われてしまうので、少し乾燥をちゃんとして、長く使えるような物をお配りすると良いんじゃないかなあと思ったのと、それと私、実際のカウントダウンイベントにちょろちょろと参加させていただいたりしていて、盛り上がっているなと思うんですけど、本来の去年位から構想の辺りから日常の森林とか林業とか鳥取県の色んな取り組みを紹介したり、そこを盛り上げたりという部分の所が、だんだん大会に近づくにつれて逆に見えなくなっていると思いますので、近藤さんのお話もあったように日常の話、今やっている林業とかの取り組みであったり、森の健康診断を始め色々な森林に係わる事をやっていますよね？もう少し目に見えるような形で紹介出来るような場面だったり、パンフレットだったり、分かりませんが手段は、そういうのをもう少し表に出るような工夫はないかという風な事を思いながら聞いていたんですけど。

西山幹事長

難しい質問だと思いますけど。

近藤課長補佐

私の方から説明させていただきました式典の内容につきましてはアトラクションを中心にご説明させていただきました。式典会場には現在 317 インチの大型モニターを設置することにしておりまして、当然ライブ中継で映像が流れていくんですけども、演出を補助する形で映像あるいは音楽等を使っていく事にしておりまして、その中で今委託しております、乃村工藝社と日本海テレビさんを中心にして、映像計画っていうのを立てております。先程、先生の方から言われました、現在の林業の状況という所も記念式典の大会テーマ表現の所の前段に鳥取県の状況という事で、森の健康診断の取り組みであるとか、森の幼稚園とか、そういったところ、特に林業の状況で白砂青松の所であるとか、それからカシナガの問題であるとか松食いの問題であるとか、そういった問題点も映像の中で流していくべきではないかという意見を以前いただいておりましたので、そういう構想で今進んでいます。それから後、エピソードとかにつきましては、県内で林業に従事する若手従事者の方のインタビューであるとか、そういった所も含めましてメッセージ性の高い演出を加えていこうかなと思っている所です。

大北課長

それと、加えて鳥取県の森林林業木材産業というパンフレットを現在作成中でございます、完成がだいたい 2 月頃になろうかと思いますが、それも招待者の方々に配布しようかという風に思っておるところでございます。

西山幹事長

根本先生が言われたいのは、植樹祭がだんだん近づくにつれてイベント的な見え方をしてくるので、もともとの「森のめぐみと緑の豊かさ」というような辺りの本来という所が合わせて広報に載って行くのが良いのではないかということですよね。この辺りが工夫をしていく必要があると思いますので。

石委員

この間も三朝の竹田地区で間伐を行ったという新聞報道がありましたけど、関係する団体が段取りをしたとか。

西山幹事長

全体的な植樹祭の事務局だけではなくて、林業界全体の中でそういう面での方法、評価をしていくという盛り上げ方も大事かなと思います。近藤専務の方に 1 つはご協力をいただいて、情報発信を宜しくお願いしたいと思います。この辺は、関係者さんにそれぞれ心がけて注意をしていただきたいと思います。コースターの湾曲の話はどうされますか？

大北課長

乾燥の話ですか？ 一応私共が発注側でございますので、重々人工乾燥なり天然乾燥なりきっちりした物で、製品を作っていくように指導をしていきたいと思っております。

井関委員

湾曲するっていうのは、だいぶん洗われますか？

根本委員

洗っていない。置いているだけ。

近藤専務（代理）

これは、間伐材だし、一枚板だから接着剤使っていたらまだそういう事は出来るんだろうけれども。例えばビールのグラスを置いたりしていると水気が入っちゃう。全部入った瞬間には、一生懸命乾燥させて作った物でも、木の素性がそのままになって現れてくると出てくるんだよね。だから例えば、大断面集成材とか LVL もそうなんですけど、接着剤を使って固めてしまっている物については、ビールのグラスの水滴が下に落ちてても頑張っ持ちこたえるけれども、一枚板になると板の素性が分からないからね、この状態では。

大北課長

ただ、杉よりは檜の方が。

大北課長

反りとかそういった物は少ないんですけども、どうしても木表と木裏がこうなっているところになってしまいますので、木取りの関係もあろうかと思います。

梅田参事

さっきの鳥取県の取り組みの話に追加してなんですが、ちょうど年は明けて正月元旦に新聞に沢山特集号が挟み込まれますけど、あの中の 1 つに来年はグリーンウェイブの年という風な特集号が組まれる予定で今取材の方が始まっています、その中には鳥取県の林業を担う方とか活動される方のインタビューとか入る予定でございます。今年、まんがで色々賑やかになっていますが、年を明けますとグリーンウェイブという形で緑関係の広報も充実してくると思います。

西山幹事長

コースターの件についてはどこまでその可能かどうか分かりませんが、今の段階で。なるべくそういう湾曲をしたりすることが少ないように技術面のご検討をいただけたらと思います。

石委員

単純な物ですけど、これ厚くしても駄目ですか？

近藤専務（代理）

結局真ん中に貼り合わせた面がありさえすればね。水を吸ったとしても、接着の部分が頑張ってくれるんですよ。この部分が。だけど、こうやって一枚板になると水気が全部に渡っていくと木の素性が出てくるんです。

大北課長

乾燥させたものは大丈夫かなと思うんですけど。

近藤専務（代理）

接着入ると絶対大丈夫ですよ。少々水が入ってもこの、のり面は絶対動きませんから。

衣笠委員

4700、4300 そうなると、コスト計算が今からでは。

西山幹事長

スプレーを塗るという手はあるかも知れませんね。

岸田参事監

林業試験場なり、それから発注業者の方と相談して改善可能な所を改善するように検討していきたい。

西山幹事長

まだ時間がありますので。

大北課長

また、塗装をかけると檜の臭いとか良さがやっぱりなりますから。

西山幹事長

その他ありますでしょうか。

赤澤委員

観光とか宿泊に係わる者としては、具体的に県外から宿泊される方、代理店に一括して頼まれているのでしょうか？ その人達の案内の具体的な先程の配布物なんかは会場に入ってからいただけるのかなとか、案内の時点でどのくらいの県内全体のグリーンウェイブに係わるような部分がアピール出来るのかなとか、具体的に何人位がどこに泊まられてどういう行動をされる何日前から、例えば来て下さる方もあるのかしらとか、個人的には花回廊さんと米子だけで終わるのでは無く、少しぐらいは東部の方に来ていただけるのかなとか。実際に県外から宿泊を伴って来られる方の動きとか人数とか、そんなのはどうなんでしょうか？

田中課長補佐

植樹祭課の田中でございます。県外の方はまず、大会当日の1つ前の日、「土曜日に必ず来て下さい」というような案内を私共が出す事になります。おっしゃった通り委託の旅行代理店が一括して受注しておりますので、例えば私共とかが県外からいらっしゃる招待者の方、お泊まりいただく宿も私共が全て指定させていただく事になります。ただ、土曜日の夜は私共が指定をさせていただきますが、県外の招待者の方々がもう一日早く鳥取県に入りたいというような場合は自由でございますので、それは県外招待者の方のお考えにもよります。

赤澤委員

具体的にそういう内容が分からないのかなという気がしたんですね。例えば、来年「自分達の所がするんだ」と言ったら本当に式典あるいは花回廊を借りて非常にビジネス的にパッパと来られて帰られるのかなと思いますし、そうではなくてこの機会に鳥取は小さな県なので楽しみたいなと思ってもらえる方がどの位いらっしゃるのかしら？

田中課長補佐

私共が指定する日、土曜日より前に何人いらっしゃるかっていうのは。

赤澤委員

多分事務局さんでは、ほとんど担当外というか、その窓口となる幹旋業者さんの方とどういう形なのかなというインフォメーションが知りたいかなと思っただけです。

梅田参事

まず招待、県外の方には最初に招待状という物を発送させていただきます。

赤澤委員

県外の方？

梅田参事

県外の方です。その方々には、どういった所で「いつございます。」という事とそれから宿泊場所のご案内とかをご連絡するんですが、その中に鳥取県のPRグッズもそういった物も今回入れようかというのも協議しているところです。

赤澤委員

グリーンウェイブの次に繋がる部分というか、個人的には湖山池でも歩いてまわられるラリーのようなものでしょうか。

梅田参事

西部での会場ですけど、鳥取空港から入られる方も米子までは自由に来られますので、そういった全县のPRをしていただけるような物も合わせて送るという風な形が・・・

赤澤委員

幹旋業者さんと打ち合わせをされて、その辺の意図を協議した方がよろしいかと思いません。

岸田参事監

前後のツアーの説明もその時にするんでしょ？

梅田参事

視察ツアーについては通常、後ですけど。事前ツアーも企画して提案させていただこうかなと。

赤澤委員

事前に鳥取の植樹祭というもの、鳥取らしいと、砂丘から始まって木を植えるという流れが、県としても（鳥取らしい）と言えるんだと思います。

西山幹事長

まずは、前後のツアーの案内文というのは？

梅田参事

今、作成中です。

西山幹事長

東部の方も入っている？

田中課長補佐

東部も入っているツアーを当然入れている形で計画をしている。

近藤課長補佐

実施計画の 81 ページの一番下に記載が具体的に書いてあります。候補地というかつこうで今、書いてありますので。

赤澤委員

配布は前もってお手元に届くのでしょうか？

近藤課長補佐

これ自体は、招待者の方にお配りするというのはないです。

西山幹事長

ツアーの案内は？

近藤課長補佐

ツアーの案内は当然いきます。

梅田参事

最初にお手紙が届くのは 2 月から 3 月にかけて、県外の方に行きます。そこら辺でこうせっかくだからあそこに行ってみようかというのが。

赤澤委員

1 日早く来ていただいとというような。どうしても偉い方はその時間だけに行ってさっとお帰りになるという・・・

西山幹事長

私、昨年の和歌山の大会にも参加をしたんですけれども、同じ宿になった方が当選するかどうかは、それぞれあるんでしょうけれども、毎年出来るだけ参加をするように全国植樹祭に参加をするようにしているとおっしゃっていた方がいらっしゃったんですけど、その機会に各地をゆっくりと回るような事はしているという風におっしゃっている参加者の方がいらっしゃいましたので、どれくらいかというボリュームかは分かりませんが、そういう人もいらっしゃる。

赤澤委員

例えば、ご家族全員でいらして参加される方は一部であっても、他のご家族が鳥取を見に行こうかということがあれば良いかと思えます。

西山幹事長

その他ありますでしょうか？

衣笠委員

花回廊の幹事もさせていただきますので、先程も会場内を 30 分間歩くと言うことで、その辺りのご意見をいただきましてありがとうございます。私共、一番それを心配しておりますし、限られた時間の中で多くの場所を見ていただきたいと思っておりますし、先程もお話がありましたように、県内の案内役的な物、これはバスごとに担当の職員の方がされるんですけど、それに合わせて花回廊のスタッフやボランティアの方、沢山詳しい方がい

ますから、そういった方を上手に一緒に工夫していただければ、的確な状況でお話が出るのではないかと思います。その辺りを是非させていただきたいと思っております。全国から沢山の方が来られますので、我々もPRする絶好の機会と思っております。

それとさっきの企画ツアー東・中・西でこれは一般的な物、視察コースA・B・Cとか、それはそれでいいと思いますし、そういう企画にのっかるのではなくて、個人的に色々見たいというお客様もおられるので、そういった方々に対する「こういう企画も出来るんですよ」という何かそういった物があれば参考になるのではないかなど。色んないつもスポットがあると思いますので、こういった事が好きな方には、鳥取県の「こんなツアーが行けますよ」みたいな情報提供だけなんですけど、あくまでも参加者に対する情報提供というわけで、ご自分で個人的に判断できるような情報提供が出来れば、なお良いかなという気がしました。今の、視察コースはそれで良いと思うんですけど。

西山幹事長

ボランティアの面は非常にありがたいと思いましたが、事務局の方で何かコメントがありましたら。

岸田参事監

随行しております県職員それから市町村職員が前後で配置をするんですが、特に園内の特色、花回廊の良さというのは、なかなか皆さんにPR、伝える事が出来ないのも、ぜひとも花回廊の職員の皆さん、それから花回廊が抱えておられるボランティアの皆さんに、一役買っていただいて要所要所に配置をしていただいて、ニーズに応じていただければ結構ですので、宜しくお願い致します。

西山幹事長

恐らく観光案内的な物がツアー案内以外に特に招待者区分という以外に県外一般招待者の辺りに出せないかなというアイデアではないかと思います。あまり大きい物は入れられないとは思いますが、簡単な物であれば可能かも知れません。この辺は検討していきたいと思えます。

色々意見をいただきました。明日総会がございまして、中間案の中には今日の対応案というのが、時間的に盛り込む事は出来ませんが、盛り込むのは最終案の方になってまいりますけれども、いただいた意見に対する方向性について説明をしていくということを見せていただきたいと思います。そうしますと、協議事項は以上で終了致しまして、報告事項の説明をお願い致します。

近藤課長補佐

引き続きまして、レジュメの15ページをお願いします。報告事項最初は、カウントダウンイベントの開催についてでございます。東部、中部、西部ごとにカウントダウンイベントを実施しました。東部の方では鳥取青年会議所の方々と一緒になりまして、因幡グリーンフェスタという事でとっとり出会いの森で開催しました。ここでは、竹林整備を中心に

イベントを組み立てまして、その他青年会議所さんの方でフォーラムであるとかスタンプラリーやフリーマーケット様々なイベントを追加していただいた所でございます。約 5000 人ほど当日来場がございました。それから、中部では琴浦町さんにお世話になりまして、船上山の方で森の感謝祭という事で 10 月 21 日に開催しております。ここで一般植樹、記念植樹を行いまして、その他にチェーンソーアートショーでありますとか、ダム湖一周ウォーキング、特に賑やかだったのは、琴浦のグルメストリートという事で、森林林業に係わる以外の事で色々と盛り上げをしていただいた所です。それから西部では 11 月 5 日今週の月曜日でございましたけれども、奥大山鏡ヶ成高原めぐみの森、これは本番当日の植樹会場でございますけれども、その一部を使いましてカウントダウンイベントを行いました。これは、江府町さんと一緒にさせていただきました。そこで、木製のカウントダウンボードのお披露目という事を行いまして、先般新聞の方でもカラーで紹介をされております。特徴的なのはブナの実プロジェクトという事で、江府町さんがサントリーさんと一緒になってブナの保全活動をされております。こういった取り組みの中でブナの植樹という事も致しました。その他、石村長に色々とお世話になったところでございます。

それから 16 ページ、資料 3 の方でございます。リレー植樹の開催状況につきまして、中間ですけれども報告をさせていただきます。県内 19 の市町村をリレー方式で繋げます。植樹活動を行っております。リレーバトン写真は写真にございますように、チェーンソーアートで作りました木製のトッキーノでございまして、現在北栄町を皮切りにしまして 9 日今週の金曜日、明日でございましてけれども、日吉津村さんの方で開催をされまして 13 の市町村ですでに終了する予定でございます。今後 6 の市町村につきましても、順次計画がなされておまして、11 月中には残された 4 つの市、町で完了する予定になっております。雪解けと同時に三朝町さんの方で、それから南部町さんの方でも計画がされておまして、無事各市町村さんの方にお世話になりながらリレー植樹は完了する見込みとなっているところでございます。以上です。

濱本課長補佐

それでは、17 ページです。ボランティアの募集についてという事です。全国植樹祭の方でも県の皆様に参加していただいで一緒になって成功を致したいと思っております。ボランティアを募集したいと思っております。先日 10 月 19 日にボランティアセンターというのを開所させていただいております。これはボランティアの募集ですとか、研修ですとかそういうものをしてもらうところです。具体的には、ボランティアを 10 月 19 日から 12 月 21 日までで募集をしたいと思っております。開催日の決定が少し遅くなったものから、これからチラシ等を作って皆様に呼び掛けたいと思っております。高校生以上の方で当日朝早く米子の集合場所に集合出来る方ということで呼び掛けをしたいと思っております。行っていただく事は、案内とか誘導とか植樹のお手伝いとかそういう事を想定しております。以上です。

田中課長補佐

引き続きまして、18 ページ資料 5 をご覧いただけますでしょうか？公式弁当「食のみやこ鳥取県 森のめぐみ弁当」でございます。この弁当は大会当日県内外からの参加者及び出演者等に提供するオリジナルの弁当でございます。内容は平成 24 年 5 月に行ったイラストコンテストに応募されたアイデアを取り入れまして、公式弁当幹事会で 2 回の審査をしたうえで決定致しました。主な特徴と致しまして、この黒四角の 2 に書いてございます通りで、県産食材をふんだんに利用したメニューで構成しております。内容は、この枠囲みの中に書いてあるようなメニューでございまして、この四角の 4 の所でございますが、公式弁当についても一部数量限定で市販をしております。先般 11 月 3 日と 4 日米子駅前のだんだん広場で行われました「米子市のネギ来まつり」の中でも数量限定で販売しましたが、開始と同時にすぐ売り切れるような好評さでございました。従来 20 個販売を予定しておりましたが、急遽このネギ来まつりでは売り切れとなったものですから、販売業者様が、結局追加をして 40 個以上売れたというような形でございます。なかなか常時販売する事が難しくございまして、一番下の行に書いてございます通り、次の限定販売は、次の週末の「食のみやこ鳥取県フェスタ」でございます。これは全国植樹祭ブースというのを「食のみやこ鳥取県フェスタ」の中の一角に設ける予定にしております、そこでもごく一部しか販売出来ないようでございますが、販売する予定にしております。

次の方の報告をさせていただきます。19 ページ、資料 6 でございます。ご存じの通り一般公募 11 月 1 日から開始を致しました。募集定員、美鳥（みどり）の大使の方を除きましての募集定員と書かさせていただいておりますが、約 800 人という形で応募多数の場合は抽選という形にさせていただいております。他、チラシ等を付けていますので、このような形で各団体等に配布を致しまして案内をしているところでございます。応募方法あるいは参加者の決定等につきましては、この資料に書いてある通りでございます。

次の報告をご説明申し上げます。資料 7、20 ページでございます。招待者等への記念品の決定についてでございます。招待者等への記念品につきまして、以下の通り決定し発注をしているところでございます。先程コースターについては、品質等のご意見をいただいたところではございますが、全体像につきまして、ご説明を申し上げますと、2 つのパターンがございます。招待者区分ごとの記念品という事で、木製品プラス伝統工芸品のセットでお渡しをする方が、中央特別招待者、県外招待者の（特別、一般）、県内招待者の（特別のみ）報道関係者というような形で整理をしております。木製品のみは、県内の一般招待者、出演者でございます。具体的にはこの下の表の中に書いてある通りの組合せでそれぞれ発注をし、記念品をお渡しする計画でございます。説明については以上でございます。

西山幹事長

以上報告事項の説明を受けました。何か意見、質問等ございましたらお願いします。

よろしいでしょうか？ また、最後に質問等ありましたらお受けしたいと思います。

最後になりますけども、今後のスケジュールについて事務局説明して下さい。

近藤課長補佐

レジュメの資料の一番最後にA3判の資料8を添付しておりますので、これを見ていただければと思います。本日実行委員会の会議としまして、幹事会を開催させていただきましたけれども、始めのご挨拶等にもありました通り、明日米子で総会を開催致します。今日いただきましたご意見とそれから明日総会でいただきますご意見を総括しまして、もう一度見直し検討をかけたいという風に思っております。できましたら、12月中下旬頃にもう一度、大会計画策定の幹事会の方を開かせていただきまして、1月中旬頃には総会を開いて最終案の審議をいただき承認をいただければと思っております。

実施計画は2月の下旬、中旬頃に開催予定であります国土緑化推進機構の特別委員会の方で、知事の方から説明をいたしまして、承認を得たいという風に考えているところでございます。その他の動きとしましては、式典音楽の専門委員会の方につきましては、すでに合同練習等が決定してきておりますし、それからアトラクション等につきましては、12月には出演者を最終決定しまして、合同練習等に参加をしていくというような予定を立てております。それから、ボランティアセンターを設置されましたけれども、実施本部の設置につきましても12月目標という事で現在動いておるところでございます。明日の総会を過ぎますと、実行委員会全体の動きとしましては事務というよりは実際に具体的な行動に移り始めるというような事がありまして、各種マニュアルを作成していきたいという風に思っております。それから、出演団体につきましては、出演者それからスタッフにつきましては具体的に動き始めるという事で雪解けと同時にもう式典リハーサルとか総合リハーサルとかそういったリハーサルに向けての準備態勢を整えていくというような今後の予定になるかと思います。皆様には、12月の幹事会に向けまして、また改めまして日程調整をさせていただきますので、ご協力を宜しくお願いします。以上です。

西山幹事長

今後のスケジュールの説明をいただきました。先程の報告事項も含めまして何かご質問等ございましたらお伺いします。

近藤専務（代理）

来年の5月の植樹祭というものに鑑みまして交通アクセスの様子が分かれば教えていただければと思います。といいますのが、鳥取自動車道はその時点では全線開通ですよね？

梅田参事

まだですね。

近藤専務（代理）

ただ、色んな情報が入って来るのは24年度中に全線開通になりますという事です。

岸田参事監

姫鳥は24年度中ですよ。

近藤専務（代理）

作用から鳥取市内までは通じますよね？ 24年度中に完全に開通って書いてあった。

あとは東伯、中山とかあっちの辺の方の工事をやっている所は具体的に植樹祭とは関係

ないというのであればそうなのでしょうけれども。いつ頃ここまでになるというのは、県内の車のアクセス事情が分かれば教えてもらえれば。というのが、鳥取自動車道は確か鳥取空港の所までは通ったかな・・・

西山幹事長

鳥取空港インターまでの完成が24年度位かどうかという話です。

岸田参事監

中山道路が25年度末。

近藤専務（代理）

今のまま、今回は変わらない。東西のアクセスは。

近藤専務（代理）

鳥取自動車道も粟倉と鳥取空港の所くらいまでか。

西山幹事長

粟倉までは24年度中というアナウンスがあったんですけど、鳥取空港インターの所が24年度中かどうかということになりますね。

赤澤委員

車で来られる方が多いだろうと考えると、ナビも新しいのは中々入らない、反映されないのので分かりやすい道順の案内が必要かと思います。

岸田参事監

もうちょっと、確認して

西山幹事長

その他、よろしいでしょうか？

中野委員

記念品についてなんですけど、日南町森林組合さんのコースター、これ何枚セット？

大北課長

2枚ですね。2枚セットですね。

中野委員

1枚も2枚も変わらないんですけど。1枚、2枚もらってもちょっと。例えばなんですけど、携帯ストラップとかその他もろもろ何かそういう小物であるとか、もうちょっと日々の生活でちゃんと使えるような実用的な方が良いのかなとふと思ったもので、失礼致しました。

石委員

それは、僕も思っていました。どうするのかなと。ボールペンとかは1本、2本使えますけども、コースターはどうなのかなという気がして見ていました。予算的な事があると思って遠慮していましたけど。

西山幹事長

LVLのコースターは2枚？

大北課長

2枚ですね。

西山幹事長

1番下の木製コースターは1つ？

大北課長

1枚。私共も日常生活で使える物という視点では一応選んだつもりではございます。

梅田参事

会場の中のおもてなし広場には色々と物販の店を出す予定でございまして、その中にはストラップとかいう物も関連商品もあるのでは・・・

赤澤委員

コースターは2枚だけではなく、もう少しあったらと思います。

大北課長

ちょっと単価の問題で。予算の問題で。

西山幹事長

緋のコースターは何枚？

岸田参事監

2枚セットで。色違いで緑がエンジ色とウグイス色という色違いを1セットにしています。割と品は良いのかなと思います。

西山幹事長

その他よろしいでしょうか？そうしましたら、以上をもちまして、今日予定しておりました協議が終了いたしました。進行を事務局に返します。

梅田参事

ありがとうございました。限られた時間の中で大変熱心な充実した協議ありがとうございました。資料の方はお持ち帰りいただきまして、実施計画本編は90ページに及びますので、目を通していただいた上で追加のご質問とかございましたら、事務局の方にいつでも結構でございますので、お問合せ願いたいと思います。では、以上をもちまして第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会第6回の大会計画策定幹事会を閉会させていただきます。皆様、熱心にご協議いただきまして、ありがとうございました。お気をつけてお帰り下さい。

幹事会委員・事務局全員

ありがとうございました。